

# Actiphy Rapid Deploy

Windows 11対応 PCのキツティングツール  
～ ネットワーク経由でのデプロイに対応 ～

2024年 4月 11日  
株式会社 アクティファイ

## デプロイ（展開）作業の効率を飛躍的に高めたキッティングツール

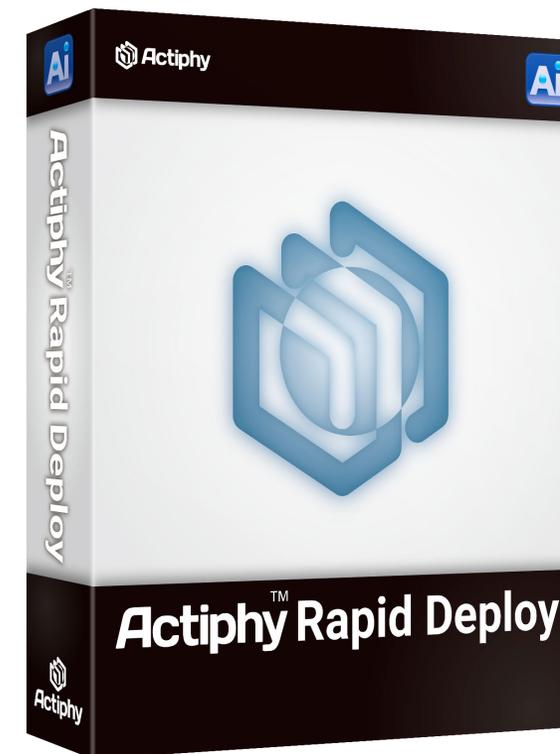
- 従来製品(ActiveImage Deploy USB)のデプロイ機能に加え、ネットワーク経由での一斉配信によるデプロイが可能
- 独自開発のデータ転送技術(TCP-SlideCast)による、配信サーバーやネットワークの負荷を抑えたデプロイが可能
- 特別なスキルを必要とすることなく、簡単かつ効率的にキッティング作業が可能

### Actiphy Rapid Deployの主機能

- デプロイ用のマスターPCのイメージ作成
- マスターイメージのネットワーク経由での一斉配信によるデプロイ
- マスターイメージのスタンドアロンでのデプロイ
- 復元専用メディアの作成

### Actiphy Rapid Deploy導入のメリット

- 定期的に大量のキッティング作業をおこなうデプロイ環境を簡単に構築可能
- ネットワーク経由での一斉配信によるデプロイの進捗状況を一元管理が可能
- デプロイ用のイメージを組み込んだデプロイ用メディアの作成時間の短縮
- 利用環境に合わせて、従来製品と同様のスタンドアロン形式のデプロイも可能



Actiphy Rapid Deployは、Deploy Media Creator（従来製品のActiveImage Deploy USBをベースに改良）と新しく開発したImageCast Serverで構成されます。

### Deploy Media Creator

Deploy Media Creatorは、マスターイメージ作成用のデプロイ用メディア / ImageCast Server（配信サーバー）にクライアントから接続するための起動メディア（ImageCastクライアント） / 復元用メディアの作成、USBメディアの更新などがおこなえます。

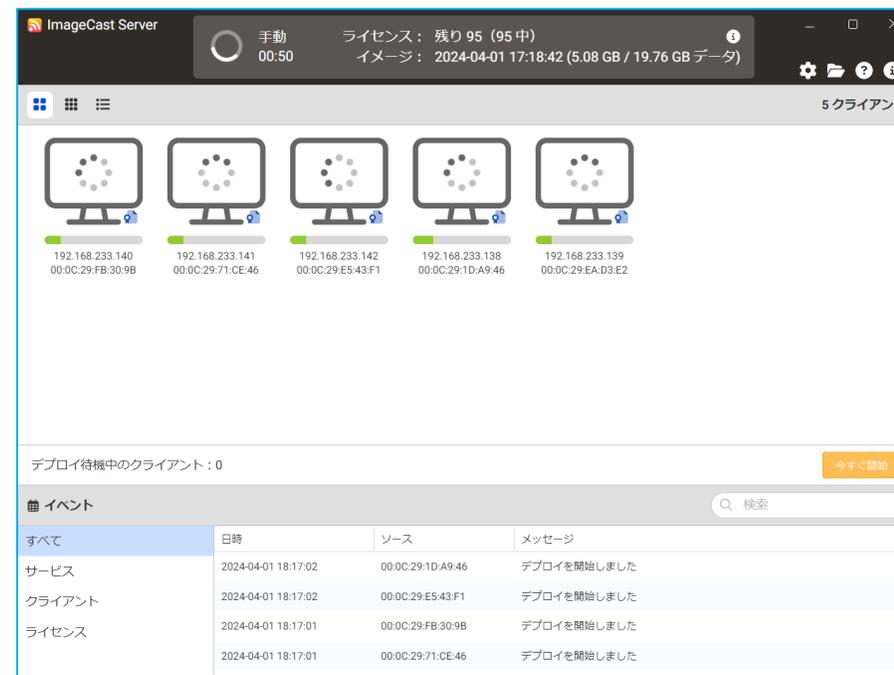
#### Deploy Media Creatorのコンソール



### ImageCast Server

ImageCast Serverは、ネットワークによるマスターイメージの一斉配信でのデプロイや進捗状況を一元的に管理する配信サーバーです。デプロイ用メディア内に作成したマスターイメージを簡単かつ高速にデプロイできます。

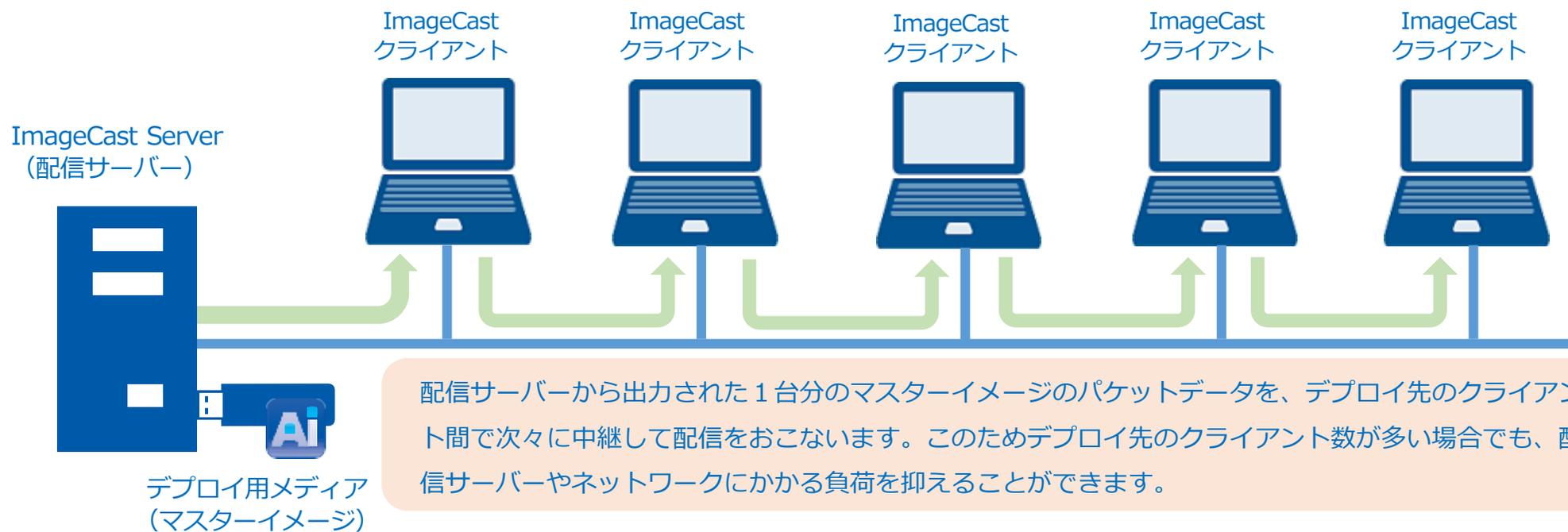
#### ImageCast Serverのコンソール



### 独自開発のデータ転送技術(TCP-SlideCast)による効率的なデプロイ

独自開発したTCP-SlideCastは、P2P(Peer to Peer)技術を使ってクライアント間で送受信おこない、データ転送を分散することで、ネットワーク経由でのデプロイ作業の効率を高めています。これにより、クライアントPCの数に影響を受けることなく、配信サーバーやネットワークの負荷を抑えたデプロイをおこなうことが可能です。

#### Actiphy Rapid Deployの配信方式 (TCP-SlideCast技術)



従来製品のActiveImage Deploy USBのデプロイ機能と同様の、スタンドアロン形式のデプロイも可能です。この場合、配信サーバーやネットワーク設備が不要なため、電源さえあれば作業場所を選びません。また、デプロイ作業は、マスターイメージを組み込んだデプロイ用USBメディアから起動してワンクリックで誰でもおこなうことができます。少量のPCのキッティングであれば、会議室などにPCを持ち込み作業をおこなうことが可能です。

### ワンクリックでマスターイメージをデプロイ

デプロイ先のPCをデプロイ用USBメディアから起動して、「D」のボタンを押すだけで、メディア内に取得したマスターイメージを高速にデプロイすることができます。

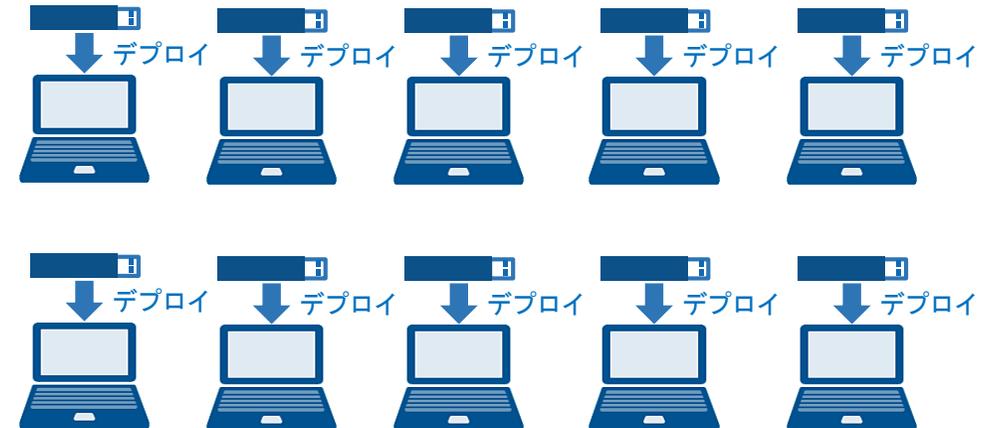
#### ワンクリックでマスターイメージをデプロイ



### 多量のPCのキッティング作業も短期間で可能

作業台数分のデプロイ用USBメディアを用意し、同時に実行させることにより多量のPCへのデプロイ作業にも対応可能です。デプロイ時間は、1台あたりPCがSSDの場合は10GBで40秒程度で短時間で完了することができます。

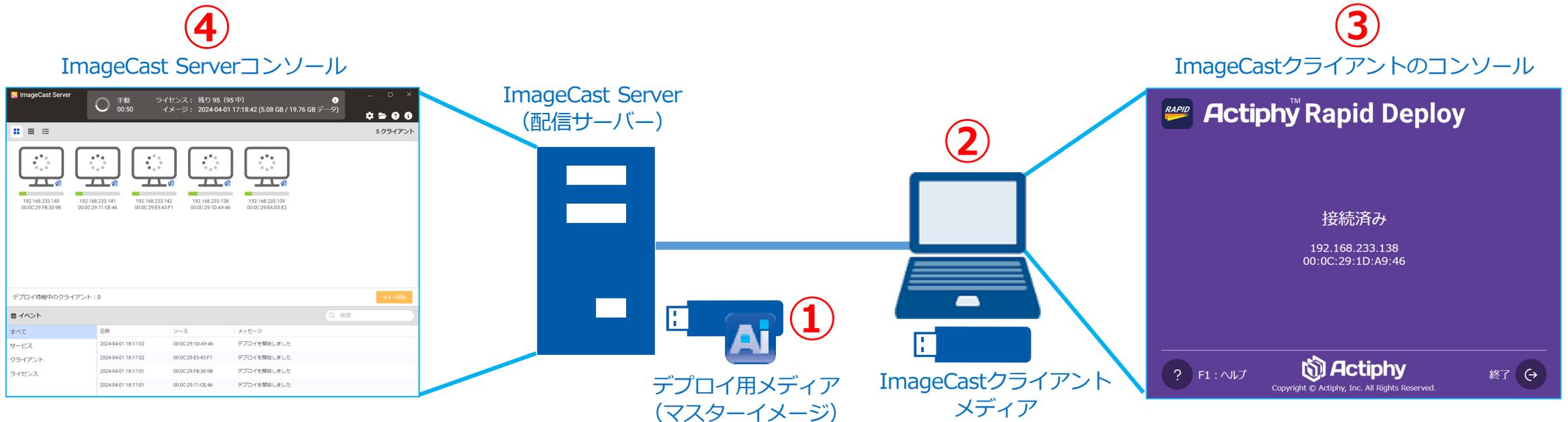
#### 多量のPCのキッティング作業も短期間で可能



## Actiphy Rapid Deployによるマスターイメージのシンプルなネットワーク経由でのデプロイ工程

- ① ImageCast Server（配信サーバー）に、マスターイメージを組み込んだデプロイ用USBメディアを接続
- ② ネットワークにデプロイ先のクライアントPCを接続
- ③ ImageCastクライアントメディア（起動環境）から、クライアントPCを起動すると自動的にImageCast Serverに接続（※）
- ④ ImageCast Serverに、全てのクライアントPCの接続が完了したらデプロイを実行

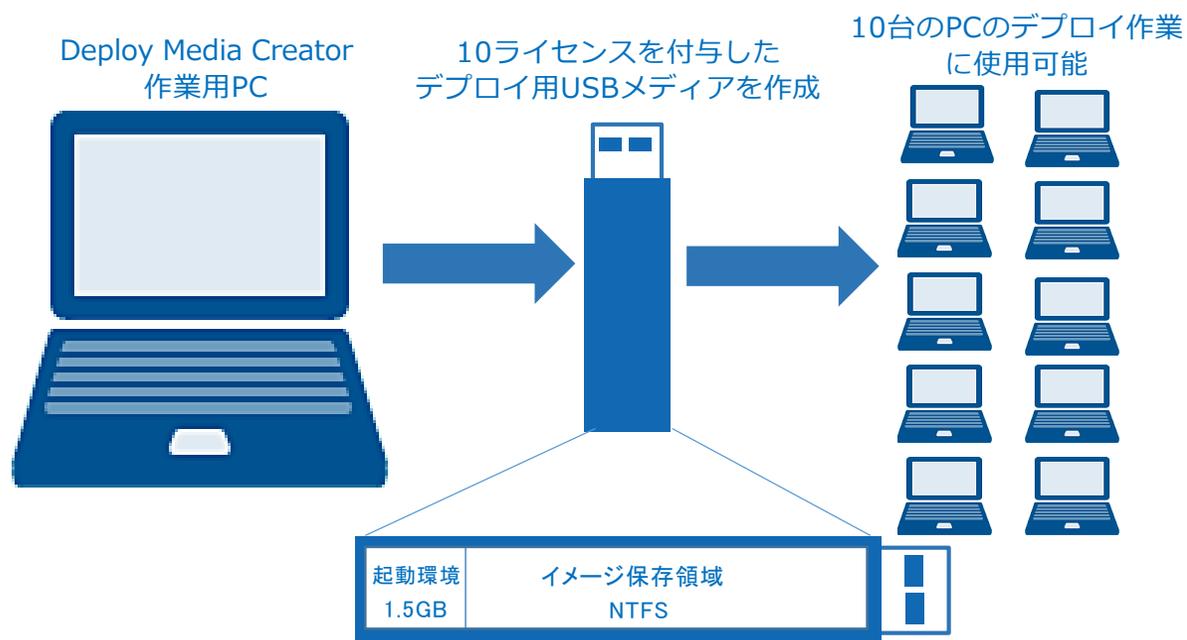
※ ImageCast Serverに接続が完了したら、ImageCastクライアントメディアは取り外すことができます。



### 簡単なデプロイ用USBメディアの作成

デプロイ用USBメディアの作成は、Deploy Media Creatorから簡単に作成することができます。作成時には、デバイスドライバーの組み込みも可能です。作成の際には、デプロイ作業に使用できるライセンス数の割当てをおこないます。例えば、10ライセンスを割り当てたデプロイ用USBメディアを作成した場合は、10台のPCのデプロイ作業に使用できます。

#### デプロイ用ライセンスを割当てデプロイ用USBメディアの作成



※起動環境は約1.5GBの領域を必要としますが、その他はイメージ保存用に利用できます。

### 1クリックでマスターイメージを作成

作成したデプロイ用USBメディアから起動して、「フルバックアップ」のボタンを押すだけでUSBメディア内に、マスターPCのイメージを作成することができます。

#### マスターイメージの作成

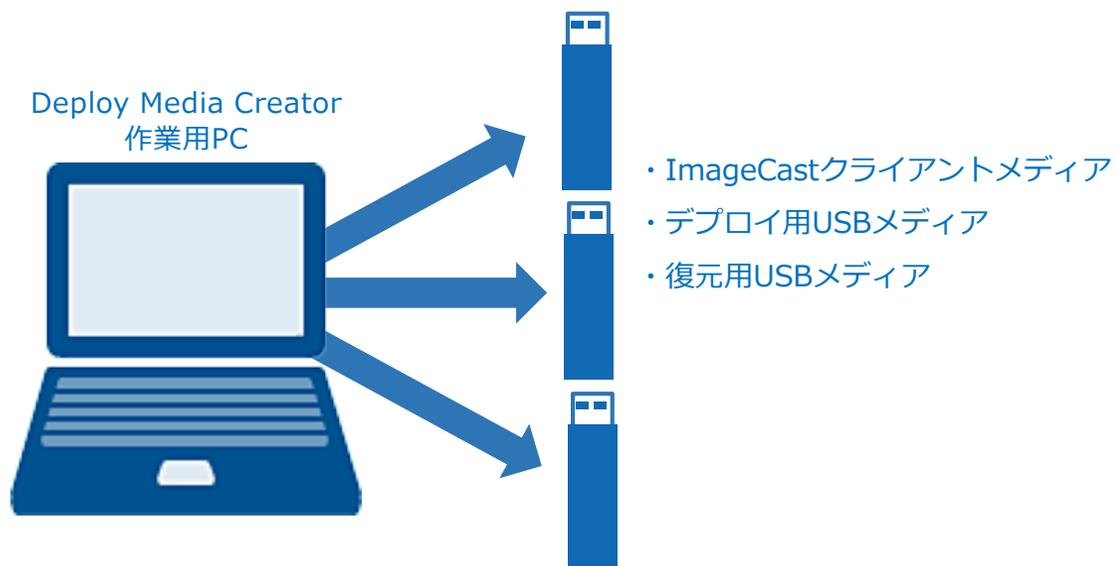


### 複数のUSBメディアの同時作成

Deploy Media Creatorから、複数のImageCastクライアントメディア / デプロイ用USBメディア / 復元用USBメディアを最大30個、同時に作成することができます。複数のUSBスロットがあるPCでは、USBメディアの作成時間の短縮が可能です。

※当社検証PCによる作成時間の測定値は、ImageCastクライアントメディアを1本作成時：約2分、3本同時作成時：約2分10秒で、1本と大差のない作成時間を確認しています。

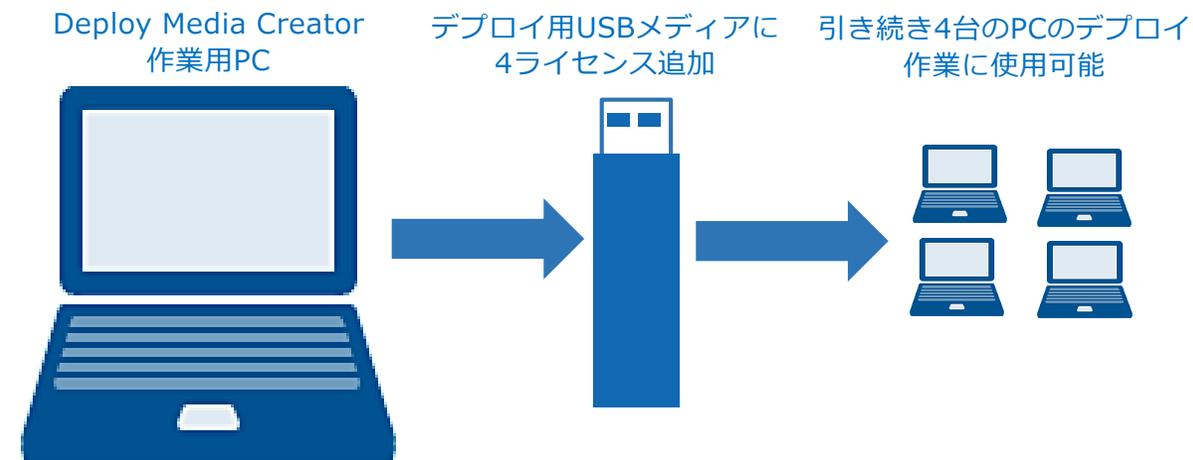
#### 複数のUSBメディアの同時作成



### デプロイ用USBメディアにライセンスの追加

デプロイ用USBメディアに割り当てられた数のライセンスをすべて消費（1回のデプロイで1ライセンス消費）した場合は、Deploy USB作業用PCにデプロイ用USBメディアを接続して、ライセンスを追加することにより、引き続きデプロイ作業に使用できるようになります。

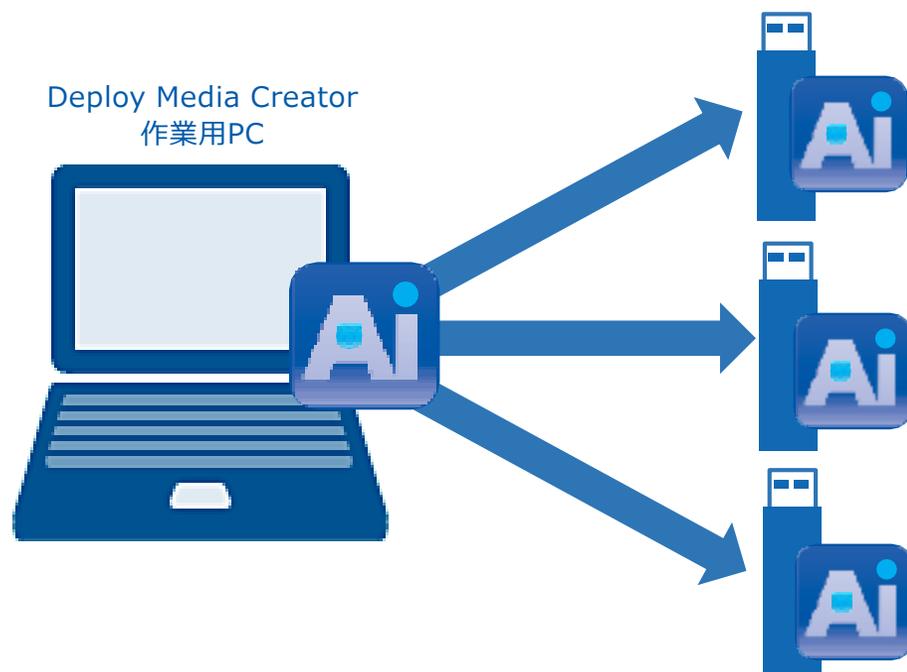
#### デプロイ用USBメディアにライセンスの追加



### デプロイ用USBメディアへのイメージの追加 / 差替え

デプロイ用USBメディアへマスターイメージの追加 / 差替えをおこなうことができます。別の機種へのPCへのデプロイ作業の際には、デプロイ用USBメディアを再作成することなく割り当てられたライセンスは保持したまま、マスターイメージを差替えてデプロイ作業に使用することが可能です。

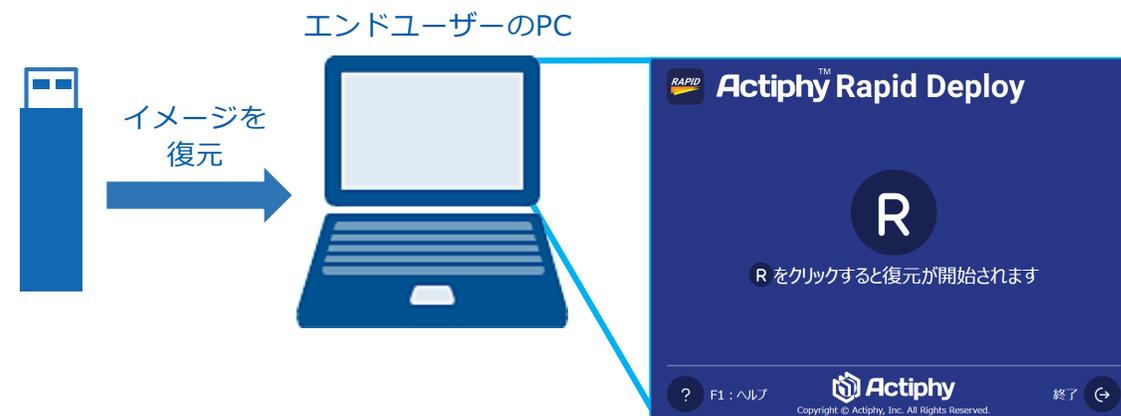
#### デプロイ用USBメディアのマスターイメージの差替え



### 復元専用メディアの作成と添付出荷

**Actiphy Rapid Deploy Plus**では、デプロイ用に使用したマスターイメージを組み込んだ復元用メディアを作成し、エンドユーザー向けのPCに添付して出荷することが可能です。エンドユーザーは、ワンクリックでPCを納入時の初期状態に戻すことができます。また、復元用メディアは、USBメディアの他に、DVD / Blu-rayにも作成できます。これにより、セキュリティの確保やメディアのコスト削減といったニーズに、柔軟に対応が可能です。

#### ワンクリックで納品時の初期状態に復元





**お問い合わせ先**  
**株式会社 アクティブアイ**  
**E-mail: [sales@actiphy.com](mailto:sales@actiphy.com)**  
**Tel: 03-5256-0877**



[www.actiphy.com](http://www.actiphy.com)